

主催 泉州聴覚障害者センター建設委員会
(社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会)

日時 2019年

8月25日 日

13時～16時

(受付12時30分から)

場所 大阪市立
阿倍野区民センター

参加協力券

福引あり!!

▼おとな 2,000円

▼こども (小学生まで)

なかま・盲ろう者

1,000円

※保育あります。(300円)

保育希望の方はご連絡ください。
折り返し申込書をお送りします。

那須英彰

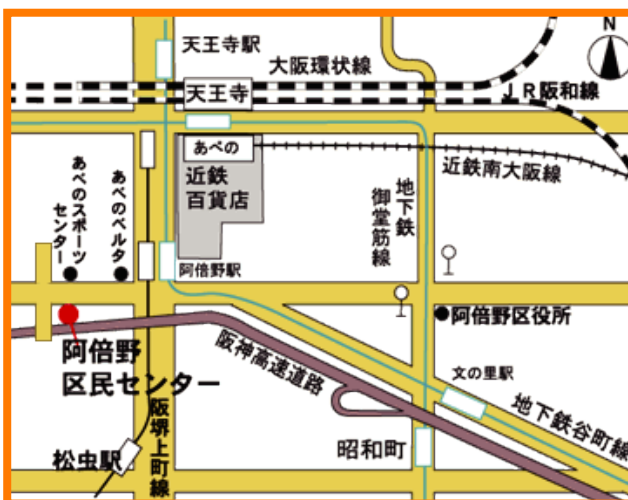
NHK手話ニュースキャスター

アイ・ラブ・チャリティーイベント
みんなで!夢を現実に!手話でGO!

手話漫談

月曜男

会場までの地図



大阪市立阿倍野区民センター

545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋4-19-118

大阪メトロ谷町線「阿倍野」駅⑥号出口

阪堺電車上町線「阿倍野」駅

大阪メトロ御堂筋線・JR「天王寺」駅、

近鉄南大阪線「あべの橋」駅



那須 英彰

1967年3月、山形市生まれ。
20歳までずっと聾学校に通う。
幼い頃から映画と演劇に興味を持ち、青森のろう劇団、日本ろう者劇団で計15年間、舞台出演。
1995年NHK手話ニュースキャスターに抜擢され、現在NHK Eテレ「手話ニュース845」の毎週金曜日夜8時45分～9時に出演中。
著書「手話が愛の扉をひらいた」(宙出版)、写真エッセイの本「出会いの扉にありがとう」(新風舎)がある現在、全国各地講演、一人芝居活動中。



月曜男

1962年3月、静岡市生まれ。
静岡県立沼津聾学校専攻科卒業。
手話動画に出演することになったきっかけは、地元静岡市ろうあ協会の集まりで開会式のあいさつをしたのを見た、当時の情報センター加藤所長から動画ブログへの出演に抜擢されたのが始まり。

「月曜男」の由来・・・毎週月曜の理容の定休日を利用して、平成18年に開催された全国ろうあ者大会の準備を手伝っていた時に、月曜の度にやってくることから、実行委員たちが名づけてくれた。

聴覚障害者が安心して利用できる社会資源はきわめて不足しています。

「聞こえない」「聞こえにくい」障害のため、手話を始めとするコミュニケーションと情報保障が必要です。

また、お互いを支え合う聴覚障害者の集団が生きる力と喜びを生み出します。

泉州聴覚障害者センター(仮)は「手話で楽しくおしゃべりできる場」「仕事の場」「楽しい日中の活動の場」「手話で気楽に相談できる場」をめざしています。

運営は、なかまの里、あすくの里等を運営する社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会が行います。

センターを開所するには、土地購入費、施設建設費や設備・備品費等3億2000万円の施設整備費が必要です。

建設資金のうち、3000万円を募金活動でつくります。

このイベントの収益は泉州聴覚障害者センター(仮)の建設資金となります。

みなさまの温かいご協力・ご支援をお願い申し上げます。

お問い合わせ先・参加協力券申込先

泉州聴覚障害者センター建設委員会 (社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会・後援会)

〒540-0012 大阪府中央区谷町 5-4-13 大阪府谷町福祉センター 3階

公益社団法人 大阪聴力障害者協会内

TEL: 06-6761-1394 FAX: 06-6768-3833

泉州聴覚障害者センター (仮称)

基本計画

- | | |
|--------|------------------------------|
| 1、事業内容 | 生活介護事業 25名
就労継続支援B型事業 20名 |
| 2、開設予定 | 2020年4月1日 |
| 3、開設場所 | 貝塚市 |
| 4、特徴 | 相談支援事業所を併設 |
| 6、面積 | 建物面積677㎡ 敷地面積1530㎡ |

